

Talk Event 10.17sat

出品作家、

児玉 泰・池田 高広による
アーティスト・トーク

展示作品や自身の作品の制作意図について語ります。

日時：10月17日（土）13:30～
場所：AIR 南山城村“青い家”
参加費：無料

Cafe ゆるり

南山城村の月ヶ瀬ニュータウンにて予約制で営業していますCafeゆるりです。
トークイベントでは、ランチとドリンクなどをご用意する予定です。
どうぞ、くつろぎの時間をゆるりとお過ごしください。

<http://yururi.de6480.net>

※材料がなくなり次第終了いたします。



※写真はイメージです。

アクセス

◎原則として「車」でのご来場をお願いします。

**AIR南山城村“青い家”には駐車場はありません。
必ず本館前の駐車場をご利用ください。**

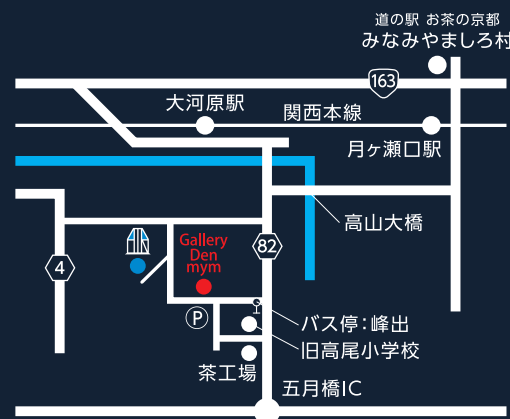
駐車場はギャラリー本館前にございます。そちらをご利用ください。

■お車でお越しの場合

- 大阪・奈良方面より：369号線→4号線、途中左折して82号線
- 京都・三重方面より：163号線→82号線
- 名阪国道より：名阪国道五月橋IC→4号線→82号線

■公共機関でお越しの場合

- 大阪方面より
加茂駅（JR大和路快速）で乗り換え、月ヶ瀬口駅（関西本線）下車
- 京都方面より
木津駅（JRみやこ路快速）で乗り換え、加茂駅から同上



高山大河原線村営バスをご利用ください。

月ヶ瀬口駅で下車してください。

行き
月ヶ瀬口駅前発（所要時間約20分）
10:00、13:15、15:45
峰出で下車してください。

帰り
峰出發（所要時間約20分）
17:19、18:19
月ヶ瀬口駅前で下車してください。

Gallery Den mym

ギャラリーデン南山城村

主催／Gallery Den mym

後援／南山城村

京都府相楽郡南山城村高尾下廣見35 TEL 0743-94-0012 定休日：水・木曜日

E-mail: gdmym@nifty.com URL: galleryden-mym.com

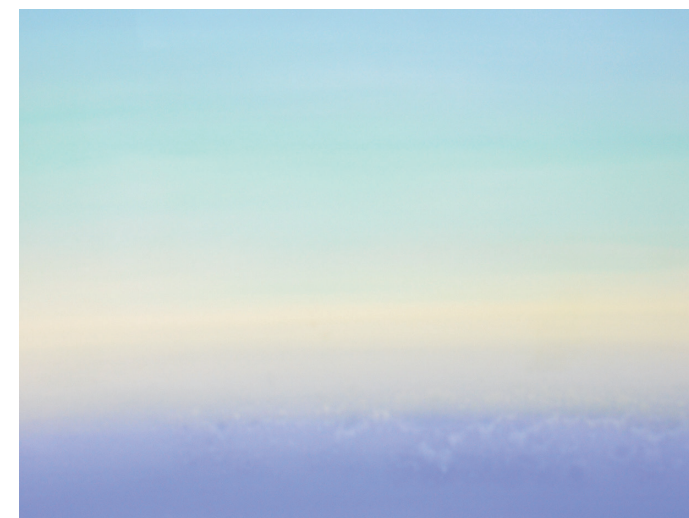


Gallery Den mym

児玉 泰展

日常の一コマを見直す作業

Yasushi Kodama



AIR 南山城村

池田 高広展

『Transition』

Takahiro Ikeda

2020.10.11sun～10.24sat

12:00～17:00 初日のみ12:30～

毎週 水・木曜日は、休廊日とさせていただきます。

Gallery Den mym
ギャラリーデン南山城村

AIR 南山城村
Artist In Residence 青い家



児玉 泰
Yasushi Kodama

PROFILE

1959 大阪府生まれ。
2020 京都教育大学院美術教育専修在学中

■主な個展

- 1995 古代の想い(芥川緑地資料館あくびあ)
- 1996 茨木の古墳を考える(川端康成文学記念館ギャラリー)
- 1999 西脇市岡之山古墳群を考える(西脇市岡之山美術館アトリエシリーズ企画)
- 2000 後期古墳を考える(ギャラリーくるせ)
- 2001 塔上祭シリーズ(茨木市福祉文化会館)
- 2003 河川敷の地理学シリーズ(茨木市福祉文化会館)
- ここ十年の流れ 作品展(川端康成文学記念館ギャラリー)
- 2005 辺境の景観を考える(西脇市岡之山美術館アトリエシリーズ企画)
- 2006 辺境の景観シリーズ(茨木市福祉文化会館)
- 作品展(アーツスペース東山)
- 2008 景観の狭間と俯瞰(茨木市福祉文化会館)
- 磯城・磐余 景観一大和・奈良 No.1(アーツスペース東山)
- 2009 JUBUN—樹群(川端康成文学記念館ギャラリー)
- 2010 葛城 景観一大和・奈良 No.2(アーツスペース東山)
- 自然と景観(児玉敬子との2人展)(川端康成文学記念館ギャラリー)
- 視点の四方向(ギャラリーNOB企画)
- 2011 佐紀盾列 景観一大和・奈良 No.3(アーツスペース東山)
- 2013 日常の狭間(ギャラリーセージ企画)
- 2013 下ツ道 景観一大和・奈良 No.4(アーツスペース東山)
- 三島の古墳(写真家山本凡男とのコラボレーション展)(茨木市福祉文化会館)
- 2016 TSAC(高槻市立第三中学校美術デザイン部) EXHIBITION(ギャラリーからころ)

日常の一コマを見直す作業

制作するということを意識出したのは、中学2年生ぐらいのころです。美術史の中でシュールレアリスム、特にルネ・マグリットとの出会いがあり、それがその後の制作コンセプトに決定的な影響を受けていると思います。純粹に制作することを、日常的に継続していた時期であり、素描を重ねていました。

そして、月日が流れ40年を経過している現在、日本及び世界のカオスの諸事情が、スパイラル的に表出していることに不安を感じ、その状況を作品に表現したいという情緒的、エモーショナルな心情が生じています。残念ながらそれを表すには、昨今の諸事情を自分自身が充分咀嚼し、明確な解釈を経て表現しなければならないと思うことが、かえて作品として表すことへの障壁となっています。しかし、必ず取り組むべき課題であることは違いないと思っています。

今回の「風の通る街の景観シリーズ」は森の中に静かに佇む立体群が、無秩序に玩具のように展開している。中にはマグリットの初期の作品に登場するチェスの駒に似たオブジェ群も登場します。一つ一つは互いを意識し合う人格を持ち合わせた群列へと変化していく予兆を醸し出します。……次の展開を模索していく節目と考えています。



池田 高広
Takahiro Ikeda

PROFILE

1983 滋賀県生まれ
2004 大阪芸術大学短期大学部 デザイン美術学科 版画専攻 卒業
2007 大阪芸術大学 美術学科 版画コース 卒業

■主な個展

- 2019 『Circulation』(GALLERY WKS / 大阪)
- 2017 『Empathy』(GALLERY301 / 兵庫)
- 『Over flowing』(サロンモザイク / 大阪)
- 2015 『Natural』(GALLERY301 / 兵庫)
- 2014 『Transmigration』(GALLERY301 / 兵庫)
- 2013 『proliferation』(GALLERY301 / 兵庫)
- 『In The Chocolate』(gallery morning / 京都)
- 2012 『Abstract Chocolate』(GALLERY301 due / 兵庫)
- 2011 『choco taste』(GALLERY301 due / 兵庫)
- 『choco color』(2kw gallery / 大阪)
- 『wonderful choco』(番画廊 / 大阪)
- 2010 『wonder sweets』(ギャラリーエフェメール / 大阪)
- 2009 池田高広展(番画廊 / 大阪)
- 2008 池田高広展(番画廊 / 大阪)



『Transition』

私はよく山を登ります。
その中で日常の生活では気づかない事など感じる事が出来ます。
季節や時間、色々なものが積み重なりかたちを変え、いつかは無くなり消えてしまうモノのかたちを山と生活が重なり合う『青い家』の空間で集めてみたいと思います。